

平成 21 年定期総会議案書

日 時：平成 21 年 7 月 11 日（土）

午後 2 時～午後 3 時

場 所：神戸国際協力交流センター

特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会

定期総会式次第

開会のことば

資格審査報告および総会成立宣言

議長選出

議事

第1号議案「平成20年度(第5期)事業経過報告および会計決算報告」

第2号議案「平成20年度(第5期)会計監査報告」

第3号議案「平成21年度(第6期)事業計画案および会計予算案」

議長解任

閉会のことば

第5章 総会 (種別) 第21条 この法人の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。 (構成) 第22条 総会は、正会員をもって構成する。 (権能) 第23条 総会は、以下の事項について議決する。 (1)定款の変更 (2)解散 (3)合併 (4)事業計画及び収支予算並びにその変更 (5)事業報告及び収支決算 (6)役員を選任又は解任、職務及び報酬 (7)入会金及び会費の額 (8)借入金(その事業年度内の収入をもって償還する短期借入金を除く。第50条において同じ。) その他新たな義務の負担及び権利の放棄 (9)事務局の組織及び運営 (10)その他運営に関する重要事項 (開催) 第24条 通常総会は、毎年1回開催する。 2 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。 (1)理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。 (2)正会員総数の5分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。 (3)第15条第4項第4号の規定により、監事から招集があったとき。 (招集) 第25条 総会は、前条第2項第3号の場合を除き、理事長が招集する。 2 理事長は、前条第2項第1号及び第2号の規定による請求があったときは、その日から60日以内に臨時総会を招集しなければならない。 3 総会を招集するときは、会議の目時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。 (議長) 第26条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。 (定足数) 第27条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。 (議決) 第28条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。 2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。 (表決権等) 第29条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。 2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。 3 前項の規定により表決した正会員は、前2条、次条第1項及び第51条の適用については、総会に出席したものとみなす。 4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議事の議決に加わることができない。 (議事録) 第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。 (1)日時及び場所 (2)正会員総数及び出席者数(書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。) (3)審議事項 (4)議事の経過の概要及び議決の結果 (5)議事録署名人の選任に関する事項 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。

会費(平成21年4月1日現在)

正会員 (1)入会金 5,000円

(2)年会費 5,000円

URL <http://toshisaigai.net/>

賛助会員(1)入会金 25,000円

(2)年会費 25,000円

【第1号議案】「平成20年度（第5期）事業経過報告および会計決算報告」

1.事業内容

平成20年度（2008年度）のNPO法人都市災害に備える技術者の会の活動は、WG活動の実施、研修会、を中心に行った。

WG活動の実施

(1)WG-Aの活動

WG-Aは、「まちづくり・教育を考える」活動グループである。2008年10月4日（土）14:00～15:30、café進々堂（京都市左京区北白川追分町）において、防災カフェ「関西壊滅！？大地震！君は生き残れるか？」が開催された。講師は京都大学の佐藤祐一先生。



佐藤先生の講演の様子

(2)WG-Bの活動

WG-Bは、「津波・地震災害を考える」活動グループである。2008年11月に石川浩次リーダーが、中国上海市工程師技術協会主催の省エネ・排出削減シンポジウム・地震対策分科会に出席して、「これからの都市の地震防災の整備に向けて 提言」の講演を行った。また、同済大学とも交流を行い、災害対策関係に関する講演及び学術交流を行った。

(3)WG-Cの活動

WG-Cは、「谷埋め盛土防災を考える」をテーマとしている。太田英将リーダーが2008年6月に（財）全国建設研修センター講習会の「盛土の耐震設計 - 設計・工事 -」の講師として講義を行った。

(4)WG-Dの活動

WG-Dは、「当NPO法人の今後の具体的方向」をテーマに12名のメンバーで平成18年7月から活動している。本年度は、社会のニーズが高いと思われる初等教育現場を専門技術的側面から支援することを主体として活動を行った。具体的には、『ビジュアル版幸せ運ぼう』（神戸市教育委員会・神戸大学都市安全研究センター・読売新聞・読売テレビ放送制作）の一部について、子供たち読者が理解しやすいよう科学技術面からの補足教材（解説書）を作成することを企画し、2ヶ月に1回のペースで勉強会（会議）を開催した。



片瀬会員の講演の様子

また、8月1日には太田会員が第42回土木学会夏期講習会において「都市災害と自然現象」と題して講演を行った。なお、この講演会には本会の河田恵昭先生が「地域防災」について基調講演をされている。

10月30日には、太田会員が京都市立伏見工業高等学校において「新しい時代の地盤技術

者の役割」と題して、生徒に講義を行った。

2009年1月17日には、清水会員が奈良市防災センターに於いて「災害時要援護者としての防災・減災への取り組み - 車いす使用者の視点から - 」と題して講演を行った。

2009年3月4日には、本会会員の廣野所長の要請で国土交通省越美山系砂防事務所において防災講演を行った。講師の片瀬会員は、1995年阪神・淡路大震災時の神戸市職員でなければ語れない生々しい話を、岐阜県内の行政職員や建設関係の方々に具体的に伝えた。

研修会

2008年度は下記に示す4回の研修会が実施された。

(第19回研修会)第2回「震災対策技術展」大阪 2008年6月19日開催：『市民・学生たちと考える防災・減災のネットワークづくり - ボランティア活動の必要性 - 』

(第20回研修会)2008年7月12日開催：『WG活動報告及び討論会』開催。WG - A ~ Dまでの活動報告と、今後の活動についての討議を行った。

(第21回研修会)『関西壊滅!?大地震!君は生き残れるか』カフェ 2008年10月4日開催：京都大学前にある cafe 進々堂において表題の防災カフェが開催された。講師は、京都大学の佐藤裕一先生。

(第22回研修会)第2回災害対策セミナーin神戸 2009年1月16日開催：『大地震を経験して14年 - 防災・減災活動の報告 - 』と題して開催。河田恵昭先生（京都大学防災研究所巨大災害研究センター長・教授）が「NPO 法人の今後の展開への期待」と題して基調講演された。基調講演に続いて、山田副理事長を総括コーディネーターとしてパネルディスカッションが行われた。パネリストは本会の笹山名誉理事長、向井泉南市長、高橋技術士会会長、立命館大学中野さん、コメンテーターは室崎理事長であった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
災害予防・災害発生後の対策提案	WG-D(防災啓蒙活動)会議	平成20年5月24日から2ヶ月に1回開催	NPO 大阪事務所(新大阪)	約8人	WG-D 会員約8人	-
各種イベントへの参加	WG-C(谷埋め盛土防災)から講師派遣:宅地造成設計・施工研修会への講師派遣;「盛土の耐震設計・設計・工事」	平成20年6月5日	(財)全国建設研修センター	1人	受講者28人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	第19回研修会 第2回「震災対策技術展」大阪;「市民・学生達と考える防災・減災のネットワークづくり ボランティア活動の必要性」	平成20年6月19日	インテックス大阪	10人	会員および一般約100人	-
災害予防・災害発生後の対策提案	第20回研修会 「WG 活動報告および討論会」	平成20年7月12日	(財)神戸国際交流協力センター	12人	会員12人	-
各種イベントへの参加	第42回土木学会夏期講習会に講師派遣。河田先生が「地域防災」について基調講演。太田会員が「都市災害と自然現象」を講演	平成20年8月1日	神戸市総合教育センター	2人	一般約50人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	第21回研修会;WG-A(教育)イベント;佐藤先生が防災カフェ「関西壊滅!?大地震!君は生き残れるか」を開催	平成20年10月4日	京都市 cafe 進々堂	1人	一般約20人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	WG-D(防災啓蒙活動)から講師派遣:太田会員が伏見工業高校で「新しい時代の地盤技術者の役割」を講演	平成20年10月30日	京都市伏見工業高校	1人	高校生約40人	-
各種イベントへの参加	WG-B(津波・地震災害)が中国において「これからの都市の地震防災の整備に向けて-提言-」を講演	平成20年11月	中国上海市	1人	中国人技術者等60人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	第22回研修会 第2回災害対策セミナー in 神戸「大震災を経験して14年」	平成21年1月16日	神戸国際会議場	15人	会員及び一般約100人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	講師派遣;清水会員が「災害時要援護者としての防災・減災への取り組み-車いす使用者の視点から-」を講演	平成21年1月17日	奈良市防災センター	1人	一般150人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	WG-D(防災啓蒙活動)から講師派遣:片瀬会員が越美山系砂防事務所「震災復興のあり方」を講演	平成21年3月4日	国土交通省中部地方整備局越美山系砂防事務所	1人	行政職員建設関連約60名	-

(2) その他の事業

本年度は収益事業は行いませんでした。

平成 20 年度（第 5 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会
 会計決算報告書（設立日平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

（単位 円）

区分	項目	予算	決算	差額	備考
収 入	会費・入会金収入	350,000	445,000	95,000	正会員44、賛助3
	各種イベントの参加費収入	20,000	0	-20,000	
	当日参加費	10,000	0	-10,000	
	DVD参加費	10,000	0	-10,000	
	協賛金（研修会）	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	受託業務	0	0	0	
	前年度からの繰越金	2,298,096	2,298,096	0	
	雑収入	1,150	1,357	207	利息
	収入合計	2,669,246	2,744,453	75,207	

	項目	予算	決算	差額	備考
	事業費	275,000	29,220	-245,780	
	地域安全活動	30,000	0	-30,000	
	災害救援活動	30,000	0	-30,000	
	災害に備えたまちづくりの活動	30,000	0	-30,000	
	都市防災教育の推進を図る活動	170,000	14,520	-155,480	研修会等
	会場借用料	50,000	0	-50,000	
	印刷費等	40,000	0	-40,000	
	講師謝礼旅費	60,000	0	-60,000	会員外の講師への謝礼
	通信費	20,000	11,600	-8,400	会員へのメール便送料
	その他	0	2,920	2,920	DVD作成費用
	受託業務活動	0	0	0	
	前号の活動にかかる費用	15,000	14,700	-300	ブ`ラ`イ`料`金`等
	ウェブサイト費用	15,000	14,700	-300	
	管理費	210,000	275,199	65,199	
	会議費	10,000	0	-10,000	
	旅費交通費	100,000	240,620	140,620	
	備品等整備費	30,000	0	-30,000	
	消耗品費	10,000	0	-10,000	
	印刷製本費	0	0	0	
	交際費	0	0	0	
支払い手数料(事務局費)	60,000	34,579	-25,421	事務諸費用	
予備費	0	0	0		
支出合計	485,000	304,419	-180,581		
収益事業からの繰り入れ	0	0	0		
当期収支差額（次年度繰越金）	2,184,246	2,440,034	255,788		

(2)収益事業にかかる決算報告書

(単位 円)

区分	項目	予算	決算	差額	備考
収 入	書籍・ビデオ・CDの配布収入	0	0	0	
	教材作成業務受託	0	0	0	
	コンサルティング業務の受託	0	0	0	
	教育活動の企画・運営・人材派遣	0	0	0	
	収入合計	0	0	0	

区分	項目	予算	決算	差額	備考
支 出	事業費	0	0	0	
	ビデオ・CDの配布	0	0	0	
	教材作成業務受託	0	0	0	
	コンサルティング業務の受託	0	0	0	
	教育活動の企画・運営・人材派遣	0	0	0	
	管理費	0	0	0	
	プロジェクト管理費	0	0	0	
	備品等整備費	0	0	0	
	消耗品費	0	0	0	
	租税公課	0	0	0	
	支出合計	0	0	0	
当期収支差額		0	0	0	
特定非営利活動へ繰入額		0	0	0	

【第2号議案】「平成20年度(第5期)会計監査報告」


平成20年度(第5期) NPO法人都市災害に備える技術者の会
会計監査報告書

私たち会計監査は、平成20年度(第5期)NPO法人都市災害に備える技術者の会
会計の処理が、適正に実施されているか否かを監査いたしました。その結果、会計
処理は適正かつ正確に行われていたことを下記の通りご報告いたします。

記


- | | |
|-----------|--------------------------------|
| 1. 監査実施日時 | 平成21年 5月21日 |
| 2. 監査帳簿類 | 金銭出納帳
領収書類
預金通帳
決算報告書 |

平成21年 5月21日

監事 清水 煌三 

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| 1. 監査実施日時 | 平成21年 5月29日 |
| 2. 監査帳簿類 | 金銭出納帳
領収書類
預金通帳
決算報告書 |

平成21年 5月29日

監事 鹿田 晴彦 

【第3号議案】「平成21年度（第6期）事業計画案および会計予算案」

1.事業計画

本年度は、昨年度に引き続き、会員を対象とした事業および社会に向けての活動を行ってまいります。ご依頼があれば受託業務も実施して参ります。さらに、内閣府・国交省・近畿圏各府県・市や町・市民団体・学生ボランティアなどとのネットワークづくりを行います。一昨年度発足させた「防災・減災ネットワーク推進会議」の活動を進めてまいります。また、WG活動などを通じて地域に根ざした活動を引き続き行うなど、小さな活動から徐々に実績をつけるようにしていきます。

(1)特定非営利活動に係る事業

【会員向け活動】

1.研修会

平成20年度に引き続き、概ね3ヶ月に1回割合で研修会を開催します。参加は会員のみならず、一般市民へも呼びかけます。

2.ニュースレターの発行

ニュースレターも年間数回の割合で発行していますが、広く投稿を呼びかけ内容、発行頻度ともに改善していきます。

3.ワーキンググループの活動

個別WG活動を活発化させ、形のある成果を出せるように予算も確保します。

【社会に向けた活動】

1.ネットワークづくり

前年度に引き続き、行政担当者のみならず、地域の防災リーダーや防災・減災NPO法人などとネットワークを構築していきます。また、必要に応じて他のグループ（法人や任意団体など）同志のネットワーク作りの仲介などにも取り組みます。

2.他団体のイベントへの参加、講師派遣

他団体の催しにも積極的に参加します。また講師派遣などにも積極的に応じます。すでに6月2日には、(財)全国建設研修センター「宅地造成設計・施工研修 - 盛土の耐震設計 - 」への講師派遣を行いました。

3.WEBでの広報

前年度同様にイベント案内や報告をホームページやメーリングリストで情報発信いたします。

(2)収益事業

防災に携わる技術者が、都市の防災・減災にお手伝いできる業務が発注された際には、誠意を持って取り組み、与えられた条件のもとで最大限の成果を挙げられるよう努力いたします。なお、法人市民税に関しては、本年度も昨年度に引き続き、収益事業が開始されていないとの理由で減免申請をしております。

平成 21 年度（第 6 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会
 会計予算案（設立日平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

（ 1 ） 特定非営利活動に係る会計予算（案）

（単位 円）

区分	項目	前年度実績	予算	備考
収 入	会費・入会金収入	445,000	350,000	
	各種イベントの参加費収入	0	20,000	資料代として
	当日参加費	0	10,000	
	DVD参加費	0	10,000	
	協賛金（研修会）	0	0	
	その他	0	0	
	受託業務	0	0	
		0	0	
	小計	(445,000)	(370,000)	単年度収入小計
	前年度からの繰越金	2,440,034	2,440,034	
	雑収入	1,357	1,150	利息
	収入合計	2,886,391	2,811,184	

区分	項目	前年度実績	予算	備考
	事業費	29,220	275,000	
	地域安全活動	0	30,000	
	災害救援活動	0	30,000	
	災害に備えたまちづくりの活動	0	30,000	WG 活動費
	都市防災教育の推進を図る活動	14,520	170,000	研修会等
	会場借用料	0	50,000	
	印刷費等	0	40,000	
	講師謝礼旅費	0	60,000	会員外の講師への謝礼
	通信費	11,600	20,000	
	その他	2,920	0	
	受託業務活動	0	0	
	前号の活動にかかる費用	14,700	15,000	技術サポート終了
	ウェブサイト費用	14,700	15,000	プロバイダ料金等
	管理費	275,199	210,000	
	会議費	0	10,000	
	旅費交通費	240,620	100,000	
	備品等整備費	0	30,000	封筒代等
	消耗品費	0	10,000	
	印刷製本費	0	0	
	交際費	0	0	
	支払い手数料(事務局費)	34,579	60,000	
	予備費	0	0	
	支出合計	304,419	485,000	
単年度収支	140,581	-115,000	単年度収入 - 支出	
収益事業からの繰り入れ	0	0		
当期収支差額（次年度繰越金）	2,581,972	2,326,184		

(2)収益事業にかかる会計予算(案)

(単位 円)

区分	項目	前年度実績	予算	備考
収 入	書籍・ビデオ・CDの配布収入	0	0	
	教材作成業務受託	0	0	
	コンサルティング業務の受託	0	0	
	教育活動の企画・運営・人材派遣	0	0	
	収入合計	0	0	

区分	項目	前年度実績	予算	備考
支 出	事業費	0	0	
	ビデオ・CDの配布	0	0	
	教材作成業務受託	0	0	
	コンサルティング業務の受託	0	0	
	教育活動の企画・運営・人材派遣	0	0	
	管理費	0	0	
	プロジェクト管理費	0	0	
	備品等整備費	0	0	
	消耗品費	0	0	
	租税公課	0	0	
	支出合計	0	0	
	当期収支差額		0	0
特定非営利活動へ繰入額		0	0	

役員・企画委員会・事務局名簿(役職) ('09.7)

氏名	所属	理事	監事	企画委員会	事務局
室崎益輝	関西学院大学総合政策学部・教授	●		◎	
笹山幸俊	(財)神戸国際協力交流センター・顧問	■			
梅田昌郎	(株)建設技術研究所・相談役、元(社)日本技術士会・会長	◎		○	
太田英将	(有)太田ジオリサーチ・代表取締役	○		◎	◎
尾見博武	UR 都市機構・理事	□			
柏原士郎	武庫川女子大学生活環境学部生活環境学科・教授 大阪大学名誉教授	◎		○	
河田恵昭	関西大学理事 元京都大学防災研究所巨大災害研究センター長・名誉教授	◎		●	
鹿田晴彦	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・幹事		○※		○
渋谷和久	国土交通省大臣官房広報課長			○	
清水煌三	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・幹事		○		○
高田光雄	京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻・教授	○		○	
溜水義久	(株)八州・代表取締役	◎		◎	
新田保次	大阪大学大学院工学研究科土木工学専攻・教授	○		◎	
三輪泰司	(株)地域計画建築研究所・取締役会長	○		○	
向井通彦	泉南市・市長			○	
森田孝雄	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・副会長	○		○	
山田俊満	(社)日本技術士会・評議員、近畿支部建設部会・部会長	◎		◎	●
石川浩次	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・幹事			○	
長手 務	(財)神戸市防災安全公社・理事長			○	
片瀬範雄	元神戸市都市整備公社・専務理事、神戸市土地開発公社・専務理事、(株)パスコ神戸支店技師長			○	◎
伊藤東洋雄	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・副幹事長				◎
清水煌三	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・幹事				◎
北村友博	(社)日本技術士会・理事				○
末利鏡意	(社)日本技術士会近畿支部				○

(敬称略・順不同)

(役員会：●理事長、◎副理事長、○理事、■名誉理事長、□顧問)

(企画委員会：●委員長、◎副委員長、○委員)

(事務局：●局長、◎次長、○局員)

平成 21 年度の体制

役員等	理事長	室崎益輝
	名誉理事長	笹山幸俊
	顧問	尾見博武
事務局	事務局長	山田俊満
	事務局次長	伊藤東洋雄（統括） 清水煌三（広報） 北村友博（会計） 末利鏡意（会計） 太田英将（会計）
事務所	主たる事務所	兵庫県西宮市すみれ台 3 丁目 1 番地 （有限会社太田ジオリサーチ内） Tel 078-907-3120 Fax 078-907-3123
	従たる事務所	大阪市淀川区西中島 6 丁目 3 - 3 2 第 2 新大阪ビル 3 1 0 号 （太田ジオリサーチ大阪支店内） Tel 06-6886-8715 Fax 06-6886-8751

WG活動

WG略称	テーマ	代表者	活動情報
WG - A	まちづくり・教育を 考える	西山峰広	防災カフェなどで子どもたちや一般市民への防災教育を行っています。
WG - B	津波・地震災害軽減 を考える	石川浩次	地震情報の収集や、他のイベントへの参加を行っています。
WG - C	谷埋め防災を考え る	太田英将	活動を通じて関連ができた自治会などの造成地について危険谷埋め盛土の抽出を行います。今後WG - Dと合同で活動を行います。
WG - D	今後の活動の具体 的活動を考える	伊藤東洋雄	偶数月の第 1 土曜日に大阪事務所において定期的な会合をもち、教育教材の作成などを行っています。他のWGとも連携をとって活動していきます。

WG活動が会員活動の中心になりますので、同じ思いをもつもの同士が新しいWGをつくって活動していただきたいと思います。事務局までご連絡下さい。